

フラッシュトーク登壇者 略歴

アダム・ロス 在タイ米国大使館 地域環境室長

アダム・ロスは在タイ米国大使館の地域環境室長で、東・東南アジアの 17 カ国を担当している。現職に就く前は、在ケニア米国大使館で経済部参事官代理として職員 13 人を統括し、大使館の経済、商業、開発政策の調整を主導した。また、南アフリカ担当デスクオフィサーとして、米国と南アフリカ間の政務を担当し、在ザンビア米国大使館政治・経済部の副部長も務めた。それ以前は、在ベトナム米国大使館でマクロ経済を、在中国米国大使館で知的財産を担当したほか、南アフリカの在ケープタウン米国総領事館で領事を務めた。国務省外交局の勤務前は、オレゴン州ポートランドのレーン・パウエル法律事務所では知的財産法を専門とする弁護士として勤務。カリフォルニア大学ヘイスティングス法科大学院で法律を学び、クラーク大学で学士号を取得した。ロンドン大学クイーン・メアリー・カレッジでも法律を学んでいる。



マーティ・ボンフレ パタゴニア日本支社長

1970 年 6 月 29 日米国ミズーリ州セントルイス生まれ。ナイキジャパンでアナリストとしてキャリアをスタートし、後にカテゴリーセールスマネージャーに就任。その後、フォッシルジャパンでオペレーションズディレクター、マネージング・ディレクターを経て、アメリカ本社で複数のヴァイスプレジデントのポジションを務める。2007 年以降、コンサルタントとして、また起業家として多数のビジネス開発プロジェクトに携わる。19 年から現職。

ショーン・キム パタゴニア韓国支社 チームヘッド

ショーン・キムは社内・社外双方にパタゴニアのミッションを伝える役割を担っています。パタゴニア韓国支社の環境アクティビズムを立案・実行し、パタゴニアの 1%FTP プログラムに沿った韓国国内の環境団体への支援も行っています。山と自然、そしてパタゴニアのミッションや理念を愛し、20 代後半に始めたロッククライミングを、現在も続けています。



「ツシヤママネコが生きる」国境の島から見る漂着ごみの現状」

一般社団法人対馬 CAPPA 代表理事 上野芳喜

対馬でカヤックを使用したエコツーリズムを提供する会社を設立。対馬の海岸に漂着するプラスチック廃棄物の悪化に直面し、海洋プラスチック廃棄物問題に焦点を当てた非営利団体である対馬 CAPPA (Coast and Aquatic Preservation Program Association = 海岸および海洋環境の保全活動を行う団体) を設立。この団体は、対馬市からの依頼に応じて対馬でのプラスチック廃棄物についての研究を行っている。また、個々の観光客や企業の役員にエコスタディツアーを提供し、島の海洋プラスチック廃棄物問題についての認識を高める活動も行う。